

# 法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2024-12-31

## CSR活動としての企業の環境教育(平成18年度 千代田学 報告書)

田中, 充 / 長野, 浩子 / 山田, 元紀

---

(出版者 / Publisher)

法政大学地域研究センター千代田学プロジェクト

(開始ページ / Start Page)

1

(終了ページ / End Page)

89

(発行年 / Year)

2007-03

**はじめに**

---

はじめに

はじめに

近年、現代社会の課題である持続可能な社会の構築や地球温暖化問題などの解決にむけて、環境教育への期待とその重要性への認識が国内外において高まりつつある。

ところで、環境教育については、国連による「国連持続可能な開発のための教育の10年」の採択やわが国の「環境の保全のための意欲の増進および環境教育の推進に関する法律」の成立により、その位置づけや概念、推進の枠組みなどに関して法的な整備が行なわれてきた。ここでは、環境教育は持続可能な社会の構築の実現のために行うことにあるとして、その目的も明確にされ、このような環境教育の担い手は多様な主体が行なうものと定められている。

平成18年度千代田学は、環境教育に現代社会の期待が寄せられる背景について、環境問題の歴史的な経過を通して環境教育の意義を検討するとともに、環境問題の解決のために行なわれる環境教育の担い手として多様な主体の中から特に企業に着目し、企業がその本来事業を素材にして学校と連携して行なう環境教育のあり方について検討を行なった。

また、その成果を踏まえつつ、千代田区立昌平幼稚園と千代田区立九段中等教育学校において企業と学校が連携した環境教育を実践し、ついで、企業と学校が連携する際に両者間の調整を行なう第三者機関の必要性と設立のための課題についての検討を行なった。

本報告書は、第1章は、持続可能な社会のために環境教育についての調査研究について述べる。第2章、第3章は千代田区の公立学校での企業が行なう環境教育の実践事例報告である。第4章は、平成19年3月16日に行なったシンポジウムに関する報告である。第5章は、本研究調査に関する考察と提言を行ない、おわりに、では千代田学調査結果のまとめと今後の課題を報告する。なお、本調査研究に関する資料は巻末にまとめて掲載した。

本調査研究は、平成18年度の千代田区が実施する千代田学の助成を受けて行なったものである。

(執筆担当者：山田元紀)